

小学校英語 デジタル教材

短時間で英語の基礎をしっかりと身につけるデジタル教材です。
電子黒板などに投影してみんなで活動したり、
タブレット端末で個別に学習したり、さまざまな活用が可能です。

- 5・6年生向け 35レッスン収録 ● 指導者用・学習者用 両用
- 25,000 円＋税（学校フリーライセンス）

※ 1 年間利用は 8,000 円＋税でお買い求めいただけます。

学校フリーライセンス：指導者用、学習者用を問わず学校で管理しているすべての端末でお使いいただけます。

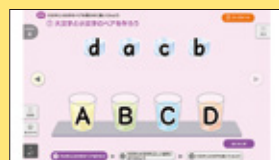
マスター シリーズ

好評発売中！



これ 1 本で読み書きは完璧！

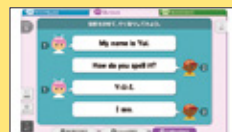
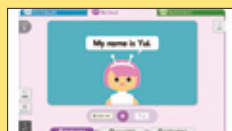
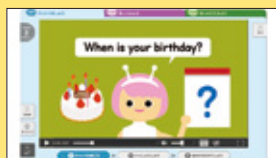
アルファベット マスター



ゲーム感覚の楽しいコンテンツで
アルファベットが自然と身につく

思わず口ずさみたくなる楽しいチャンツ

リズム マスター



オリジナルチャンツで重要表現が自然と身につく



体験版、詳しい情報は ▶

令和 2 年度版

光村図書「デジタル教科書・デジタル教材のご案内」はこちらから
www.mitsumura-tosho.co.jp/2020s_digital



英語 Here We Go! 相談室 教育 | No.05 |

2019年4月27日発行

発行人 ● 小泉 茂
発行所 ● 光村図書出版株式会社 〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話 ● 03-3493-2111 www.mitsumura-tosho.co.jp
E-mail ● koho@mitsumura-tosho.co.jp
デザイン ● Better Days (大久保裕文＋深山貴世)
イラスト ● 小林 マキ 編集協力 ● 株式会社エスクリプト
印刷所 ● 株式会社 加藤文明社

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」に則り、適切な管理・保護に努めてまいります。
詳しくは、光村図書ウェブサイトをご覧ください。
広報誌の配送停止のご希望は、光村図書出版までご連絡ください。



光村図書

2 0 1 9
| No.05 |

光村図書

英語 Here We Go! 相談室 教育

特集

英語で育む、心・言葉・学び

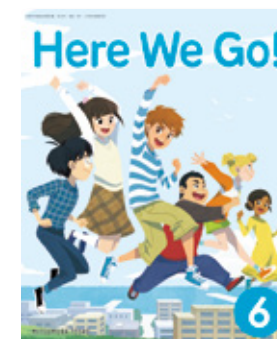
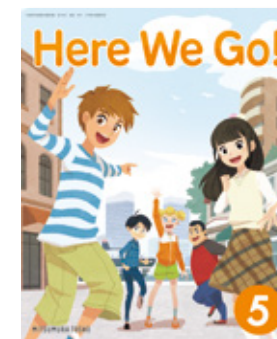
令和2年度版
小学校英語教科書
『Here We Go!』の
ご紹介

特別インタビュー
吉田知那美
(カーリング選手)

旅のことば
眞鍋かをり

こう使う! COLUMBUS 21
東京都足立区立
竹の塚中学校

子どものための
BOOK GUIDE
Dear Zoo



内容解説資料

この冊子は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとり配布しております。



旅のことば



眞鍋かをり
まなべ・かをり

タレント。1980年、愛媛県生まれ。横浜国立大学卒業。大学在学中からタレント活動始める。テレビのバラエティ番組に加え、ニュース番組のコメンテーターやMC、執筆など幅広く活動。海外一人旅が趣味で、旅の魅力をさまざまなメディアで発信している。著書に、2013年『世界をひとりで歩いてみた』、2015年『眞鍋かをりの世界ひとり旅手帖』（ともに祥伝社）など。

サニーレイニー

30歳になる頃、私は海外へひとり旅をするようになった。それまで仕事で海外へ行くことはたくさんあったけれど、どこへ行くにもただ連れて行かれるままだったから、英語を使う機会というのはあまり無かった。一方、プライベートでのひとり旅は、何から何まで完全なる自由。しかし、初めて訪れる異国を自力で旅するには、英語でのコミュニケーションが必要な場面も多多あった。ひとりでいると現地の人に話しかけられることも多いから、「旅行でよく使うフレーズ」だけでは乗り切れない。豊富とはいえない私のボキャブラリーの中から、なるべく簡単な言い回しを選んで意思疎通を図るのも、旅の楽しみのひとつだった。

ギリシャのサントリーニ島で、現地のガイドさんに、絶景スポットを案内してもらったときのこと。空には太陽が顔を出しているのに、ポツポツと雨が降りはじめた。

「サニーレイニー」と、そのガイドさんが呟いた。

お天気雨は好きだ。子供の頃から、なんだか楽しい気持ちになってしまう。

私はどうしても「日本ではお天気を『狐の嫁入り』と言うんだよ」とガイドさんに伝えたくて、英語で「狐の嫁入り」を説明してみることにした。嫁入りという日本独特の言葉をどう表現していいかわからないので「日本の迷信をひとつ教えてあげる。狐が結婚するとお天気が雨が降るんだよ」と、ざっくり伝えてみる。すると、ガイドさんは「フォックス?! ホワイ?!」と大ウケ。

狐が人を化かす感じとか、嫁入行列のこととか細かいニュアンスは伝わっていないけど、間違ってもいいから、まあいいだろう。できれば、こういう経験を学生時代にしておきたかったなと思う。べつに正確でなくても、コミュニケーションが取れたら英語は楽しい。

旅の良い思い出は、ほとんどが「人とのふれあい」だ。これからの旅でも、そんな瞬間がたくさんあればいい。



英語 Here We Go! 相談室 教育

2 0 1 9
| No.05 | C O N T E N T S

旅のことば
サニーレイニー
眞鍋かをり

特 集

02 英語で育む、
心・言葉・学び
令和2年度版小学校英語教科書
『Here We Go!』のご紹介

特別インタビュー

吉田知那美（カーリング選手）
「伝わると、世界が広がる」
聞き手：小泉 仁

新版教科書の特徴
小泉 仁／加賀田哲也

連 載

16 こう使う！
COLUMBUS 21 [第5回]
東京都足立区立竹の塚中学校
松村祐輔

20 小中をつなぐポイント [第5回]
CAN-DOでつなぐ
太田 洋

22 今日から使える！
Classroom English [第4回]
活動の指示の表現②
菅井幸子

24 デジタル教科書を使ってみましょう！

25 子どものための
BOOK GUIDE [第5回]
Dear Zoo
金原瑞人

特集

英語で育む、心・言葉・学び

令和2年度版 小学校英語教科書『Here We Go!』のご紹介

初めての小学校英語教科書で光村図書が目ざしたもの。それは、言葉・文化・価値観の異なる多様な人々と気持ちや考えを伝え合い、主体的に課題に向き合い、協力して平和な世界を築こうとする「開かれた心をもつ人」を育てることです。本特集では、アスリートの体験に裏打ちされた言葉や、実際の教科書紙面を通して、光村図書の理念をご紹介します。

特別インタビュー

よし だ ち な み
吉田知那美
(カーリング選手)

伝わると、
世界が広がる

聞き手
こ い ず み ま さ し
小泉 仁
東京家政大学教授・
小学校英語教科書
『Here We Go!』編集委員



ピョンチャン
平昌五輪の女子カーリングで、
銅メダルに輝いたロコ・ソラーレ(北海道北見市)の吉田知那美選手。
海外留学経験もある吉田選手は、カナダ人コーチとのコミュニケーションや、
海外メディアの取材などで、通訳なしの英語でやり取りをしています。
グローバルに活躍するためのコミュニケーション術や、英語との向き合い方など、
吉田選手の思考やエピソードに迫りました。

撮影：鈴木俊介(P2-7)

黒板ではなく、人と向き合う

小泉 吉田さんは、インタビューなどで、流ちょうに英語をお話しされている姿が印象的です。高校卒業後にバンクーバーに単身留学されたそうですが、どのくらいの期間行かれたのですか。

吉田 半年くらいです。もともと英語が得意だったわけではなく、留学すれば英語ができるようになるかもしれないと思ひまして(笑)。小さな頃から海外留学には興味がありました。

小泉 よく決断されましたね。留学を決めてから、英語学習に対する姿勢は変わりましたか。

吉田 中学校までは受験のためだけに英語を勉強してきたという感じだったので、目線が黒板にしか向かっていなかったんです。でも、英語に興味をもって勉強し始めた頃からは、目線が自然と人に向かうようになりました。書くだけでなく、人と話す英語を身につけたくて。

小泉 とてもいい話ですね。「黒板から人へ」というのは大きなポイントのように思います。

吉田 留学を決めてからは、知人に英語を話せる方を紹介してもらったり、AET(Assistant English Teacher)の先生と積極的にやり取りするようになったりと、英語を実際に使うために



「自ら興味や目標をもって
学ぶときに、
最も成長するものです。」

「何かを伝えたい
相手がいる、というのは
大切です。」



いろいろと行動するようになりました。

小泉 英語に対する姿勢が変化し、人と向き合うようになったわけですね。

吉田 はい。印象深いのは、高校で英語の手紙を書くという課題が出た時のことです。架空の設定で、好きな海外の俳優や歌手に手紙を書いてみるという内容だったんですけど、私は本当に手紙を届けたい人がいたんです。それで、当時、バンクーバー五輪に出場していたスイス人のカーリング選手に手紙を送りました。すると、その選手が選手村から返事を書いてくれて。とても感激したのを覚えています。

小泉 それはすごい。子どもたちが授業に臨む姿勢や態度はそれぞれですが、自ら興味や目標をもって意欲的に学ぼうと思ったときに、最も成長するものですね。

吉田 そう思います。やはり、何かを伝えたい相手がいる、というのは大切です。

英語が暮らしの道具に

小泉 留学先のバンクーバーでは、ホームステイをされていたんですね。

吉田 日系カナダ人のカーリングコーチの家にホームステイをしていました。彼らは日本語も

少しは話せるんですが、家ではなるべく英語でやり取りするようにしていました。

小泉 どんな話をされていたんですか。

吉田 やはり、カーリングの話が多かったですね。カーリングのテレビ中継を見ながら、英語の実況や解説に対して、「今何て言ったかわかる？」みたいな会話をよくしていました。

小泉 カーリングという共通の話題があったのは大きいですね。私は、言語習得には何か別の目的があったほうが効果的だと思っています。

例えば、日本に外国の方が来る場合、「和紙を作りたい」「盆栽を学びたい」といった目的がある人の方が結果的に日本語がうまくなる。彼らにとっては日本語が道具になるわけです。吉田さんも、カーリングという軸があるからこそ、英語が道具として使われてきたわけですね。

吉田 はい。私には、生きがいであるカーリングという競技に深く関わるために、英語が必要だったんです。カーリング大国といわれるスコットランド、カナダはいずれも英語が公用語です。海外の選手が試合中に何を話しているのかわかれば、作戦の分析もできますし。

小泉 なるほど。こっちは日本語で「そだね～」なんて話しているから、相手は「英語はどうせわからないだろう」とたかをくくって、作戦会議が聞こえてくる。それにこっそり聞き耳を立てるわけですね。

吉田 そうなんです(笑)。とにかく、私はトップアスリートたちの仲間に入りたいという思いが強かったんです。

小泉 英語を使う必然性があったわけですね。吉田さんのように英語が生活の一部になったら、それは「外国語」ではなく「第二言語」ですね。

吉田 確かに！ 私は、英語そのものへの興味

というよりは、世界各国の人とカーリングの話をしたり、外国人コーチとやり取りをしたいから、英語を学んできたという感じですね。

素直な気持ちを伝えたい

吉田 カーリングには、試合後に勝ったチームが負けたチームにビールを奢^{おご}ってみんなで飲む、という伝統があるんです。私は小さいときからカーリングに親しんできたので、お酒が飲める

「生活の一部になったら、外国語ではなく第二言語です。」



「世界の選手たちの仲間に入りたかったんです。」

年齢になったら絶対に参加したいと思っていました。

小泉 へえ、面白いですね。酒席で冗談が飛び交ったとき、話についていけないとか、そういったことはありませんか。

吉田 カーリング仲間が日ごろから冗談を叩き込んでくれるので、何とか理解できています。カーリングをしていると、本当にさまざまな国の選手と話す機会があります。アメリカ、スコットランド、カナダ、スウェーデン、スイス、ロシア……。みんな英語で話すんですが、国によってクセがあるんですね。それでも、英語に自

信をもって堂々と話しているんです。

小泉 いわゆる、「英語の方言」ですね。英語でやり取りをして初めて、そういった異文化に気づけることもあります。吉田さんは、これまで英語で苦労したことはありませんか。

吉田 もう、失敗ばかりです。英語でインタビューを受けたとき、本当は日本語で話そうに素直な気持ちをそのまま伝えたいんですが、どうしても定型的な受け答えになってしまうことが

ありまして……。そろそろ、自分の気持ちをきちんと英語で伝えられるようになりたいと思っています。辞書を引いても、自分の気持ちや感情とニュアンスが微妙に違うことがありますよね。気持ちを表現するのは難しいなあ、と実感しています。

小泉 そういった欲が出てきたとなると、英語力がまた伸びそうですね。

1分間のタイムアウト

小泉 コーチとは基本的に英語でやり取りをするんですか。

吉田 日本代表のナショナルコーチはカナダ人なので、試合中も基本は英語です。

小泉 試合中のタイムアウトの時間はかなり短いですね。限られた時間でコミュニケーションをとるのは、大変そうです。

吉田 タイムアウトをコールしてから、コーチが私たちのもとに到着するまで1分間かかると。その間、選手だけで日本語で話し合い、自分たちの意見をまとめておくわけ。そして、コーチが到着してからのもう1分間で、自分たちの意見を伝えないといけません。

小泉 伝えたいことを手短かにまとめるというのは、日本語でも簡単ではないですね。

吉田 すごく難しいです。ですので、日ごろから意思疎通の訓練はするようにしています。

小泉 コーチは日本語も使うんですか。

吉田 基本的にすべて英語でやり取りをするんですが、「幅」という言葉だけ、コーチも日本語で「ハバ」と言うんです。幅というのは、ストーンが氷面でどのくらい曲がるかというのを示す言葉なんですけど、これは2文字なので日本語で伝えたほうが早いわけです。「You have to take this 幅」というように。タイムアウトが1分間しかない中で、わかりやすく簡潔に伝えるために、お互いの言語をうまく組み合わせながらコミュニケーションをとっています。



カーリングの試合でストーンを投げる吉田知那美選手
(株式会社スポーツビズ提供)



左／平昌五輪カーリング女子準決勝で、作戦会議をするロコ・ソラーレのメンバー。右から、吉田梨花選手、吉田知那美選手、ジェームズ・リンドコーチ、藤澤五月選手、鈴木夕湖選手(写真：ロイター/アフロ)

小泉 面白いですね。伝えることが最優先ですから、問題ないわけですね。基本的に吉田さんが中心となってコーチと会話するんですか。

吉田 そうですね。チームメイトもだいたいわかっているんですが、認識のミスがあってはいけないので、念のため私が日本語でもう一回伝えるようにしています。もう一度言葉にすることで、私の頭も整理されますので。

小泉 わかっていても言葉にすることで、考えが整理されるということはあるですね。

吉田 そう思います。あと、タイムアウトは、緊張していたり、ストレスがかかっていたりする場面でとるので、1分間を充実したものにするために、言葉遣いにも注意しています。気心の知れた仲間でも、感情的だったり、強すぎた

りする言葉は避けるようにしています。

英語をもっと身近に

小泉 子どもたちに英語を教えるにあたっては、どのようにして彼らの生活の中に英語を染み込ませるか、ということが課題になります。英文法の話ばかりしても、英語が嫌いになってしまいますし。吉田さんのように、英語が身近にあることが理想なのですが。

吉田 そういう意味では、2020年に開かれる東京五輪はとて素晴らしい機会になると思います。海外の人がたくさん日本に来るので、子どもたちに英語に興味をもってもらう一つのきっかけになるのではないのでしょうか。

小泉 タイミングとしてもいい時期なんです

吉田 知那美 よしだ・ちなみ

1991年北海道生まれ。ロコ・ソラーレ(北海道北見市)所属のカーリング選手。2014年ソチ五輪日本代表、2018年平昌五輪銅メダリスト。小学2年でカーリングを始める。高校卒業後にバンクーバーへ留学。海外メディアの取材や外国人コーチとの会話もすべて英語で行う。

小泉 仁 こいずみ・まさし

東京家政大学教授。元・文部科学省初等中等教育局教科書調査官。日本児童英語教育学会(JASTEC)会長。一般財団法人語学教育研究所顧問。小学校英語教科書『Here We Go!』、中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(ともに光村図書)の編集委員を務める。



ね。2020年は小学校英語が教科化される年でもありますから。町を歩いていても、テレビを見ていても、英語に触れる機会は増えるでしょう。子どもたちには、英語は知識を詰め込むものではなく、吉田さんのように、人と触れ合うための道具という意識をもってほしいです。

相手意識を育む「4つのたいせつ」

吉田 人と触れ合うときに、相手意識をもつというのは、すごく大事なことだと思っています。コミュニケーションのスタートですね。

- 小泉** 教科書では「4つのたいせつ」として、
- ・笑顔(Smile)
 - ・アイコンタクト(Eye Contact)
 - ・伝わりやすい声(Clear Voice)
 - ・相手への反応(Response)

を紹介しています。最近特に重要視されているのは、Responseでしょうか。相づちや聞き返す表現を使い、相手意識をもってやり取りするということですね。

吉田 これらのことは英語に限らず、一般的なコミュニケーションの基本ともいえますよね。相手の目を見てはきはきと話す、相手の話をきちんと聞くっていう。こういったことを英語の授業で改めて学ぶというのは、すごくいいことだと思います。

小泉 吉田さんのインタビューなどを見ると、



「相手意識をもつことは、コミュニケーションのスタート。」



海外の選手に笑顔で握手を求めたり、自分からハグをしたり、積極的にコミュニケーションをとっていますよね。そういった姿勢は子どもたちのよいお手本になると思います。

吉田 ありがとうございます。

小泉 私は、子どもたちには英語を学ぶというよりは、コミュニケーションを学んでほしいと思っています。英語はコミュニケーションを学ぶためのツールなんです。

吉田 英語がわからない場合でも、相手の表情やしぐさ、声のトーンから、何を求めているのかはだいたいわかるものですよ。

小泉 そうです。子どものときからこういった部分を英語から学ぶことで、「英語は相手がいって使うもの」という意識をもつことができます。あとはやはり、思いやりをもつこと。海外の人に対して、どんな小さい言葉でも一つかけてあげると、相手も気持ちが和らぐはずですから。

吉田 そうですね。日本に来てくれた海外の選手が、試合後に「ありがとう」と日本語で言うてくれることがあるんです。何よりも、こちら側に歩み寄ってくれて、言葉を伝えようと思ってくれたことがうれしい。だからこそ、私も積極的に英語を使っていきたいと思っています。

新版教科書の特徴

ここでは、光村図書の小学校外国語教科書『Here We Go!』の主な特色について、小泉仁先生と加賀田哲也先生に紹介していただきます。



POINT 1 アニメーションで、 学びを楽しく

教科になっても、子どもたちが「英語って楽しい!」「英語が大好き!」と思える授業に——。そんな思いから、全Unitに、個性豊かな登場人物たちが互いの考えを受け入れながら成長するストーリーを設定し、そのストーリーを映像としてアニメーション化しました。コミュニケーションが行われる自然な場面や状況が、わかりやすく伝わります。



▲5年 Unit 2 When is your birthday?

PICK UP!

アニメーションは、NHKの英語教育アニメ「リトル・チャロ」シリーズを手掛けたSpooky graphic社が制作。外国語学習のためのアニメづくりのノウハウを生かして制作しています。

豊かな話題が盛りだくさん

アニメーションでは、豊かな内容の題材をリンクさせて扱いました。異文化理解、日本の伝統文化、郷土への愛着、職業への意識、国際平和、オリンピック・パラリンピックなど、今日的な内容を示すことで、学習する発話例を示すことだけにとどまらない、広がりのあるストーリーに仕上げました。

ストーリーを楽しみながら視聴するうちに、無理なく自然に英語を聞く量が増えていきます。



小泉 仁



▲5年 Unit 1 Hello, everyone.

アニメーションや歌、チャンツなどは、教科書紙面の二次元コードからいつでも見ることができます。本特集でも、一部コンテンツを紹介しています。二次元コードからアクセスして、ぜひ視聴してみてください!



▲6年 Unit 6 This is my town.



▲6年 Unit 8 What do you want to be?

主人公ニックとその家族は、中学校英語教科書『COLUMBUS 21』(光村図書)にも登場します。



親しみやすいキャラクターたち

教科書には、個性豊かな子どもたちが登場します。アメリカやオーストラリア、インドにルーツのある子、英語が得意な子、習いたての英語を堂々と使う子、友達思いの子。性格も特技もさまざまな、国際色豊かな登場人物と友達になるような感覚で、楽しく学習が進められます。

登場人物に共感しながら聞くうちにストーリーに入り込み、「自分ならこんなふうに答えたい」という気持ちが芽生えます。



加賀田 哲也 かがた・てつや

大阪教育大学教育学部教授。大学で教員養成に携わる他、小学校、中学校、高等学校などで英語授業改善のための指導や教員研修に当たっている。小学校英語教科書『Here We Go!』、中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(ともに光村図書)の編集委員を務める。

POINT 2 世界の人々とふれあい、 見方・考え方を広げる

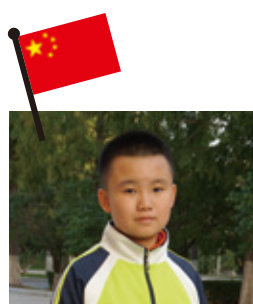
光村図書が大切にしたのは、言語や文化の異なる人々と力を合わせ、
多様な価値観を受け入れる「開かれた心」を育てること。そこで、異文化理解を促す
「世界の友達」や「World Tour」といったコーナーを設け、
世界12か国で暮らす小学生や、世界で活躍する日本人を、映像で紹介しました。



Kuki



Nilay



Yuanshuo



Ongie

本物の世界の小学生に出会う

「世界の友達」には、世界各国の小学生12人が登場。英語を使うことを楽しみ、堂々と自分の考えを話す同年代の小学生の姿は、よい刺激となって子どもたちの学習意欲や異文化への関心を高めます。また、ネイティブの英語だけでなく、さまざまな英語(World Englishes)に触れることで国際感覚を養います。

ポケモン好きのサーシャ君、世界遺産に住むニライさんなど、世界の小学生の今を伝える映像が、こちらの二次元コードからすべて見られます！



世界で活躍する日本人を紹介

「World Tour」では、世界の小学生たちの映像だけでなく、英語を使って世界的に活躍する日本人の姿を映像で紹介。落語家、ロボットクリエイター、オリンピック・パラリンピックで活躍が期待される桐生祥秀選手・一ノ瀬メイ選手などによる魅力的な映像が、子どもたちの学習意欲を高めます。



▲6年p44 パラリンピックスイマー 一ノ瀬メイ選手



▲6年 p66 英語落語 桂 かい枝師匠



▲6年 p66 看護師 富田江里子さん



▲6年 p100 ヨーヨーパフォーマー BLACK

桂かい枝師匠による英語落語などの映像は、こちらの二次元コードから見られます！



映像では聞き取りやすいアメリカ英語の吹き替え版も用意しました。

異文化理解につながるコラムやクイズも。

「世界の友達」は、各学年に3か所ずつ設定し、それまでに学んだ表現をふり返ることができるようにした復習のページです。



Review

世界の友達 1

ベラさんは何の教科が好きなんでしょう。

Hello.
My name is Bella.
My birthday is January 11th.
My favorite subject is Japanese.
I like P.E. and drama, too.
What subjects do you like?

私はオースタというスポーツをやっているよ。

学校で使う教科書やノートだよ。

誕生日にお母さんにもらったクリスタル。

チャーハンならまかせて。

I like cooking.

世界の友達の映像を見てみましょう。
どんな話をしていますか。

サーシャさんの好きなものは何でしょう。

Hi, I'm Sasha.
My birthday is February 14th.
I like Japanese anime very much.
My favorite anime is Pokémon.
I like Rayquaza.
What character do you like?

小学校には自転車通っているんだ。

This is my bag.

仲よしの友達、毎日いろいろな話をするよ。

学校には制服はないよ。バッグも自由なんだ。

Australia

オーストラリアの道は険しい。あずらしいものがいっぱい。オーストラリアにしかないきょううな動物に注意をよびかけるかんばんもあるよ。

人口 約2431万人
首都 シドニー
主な言語 英語

カンガルー、コアラはもう1つ知っていますか。

これは何でしょう。
私がとても大切にしているものだよ。

パレエのちょうこく

ダンス大会のトロフィー

フィギュアスケートの記念品

ぼくが熱中しているスポーツは、次のうちどれでしょう。

ベトナムの武術

自転車ロードレース

バタング

France

フランスでは暑い夏休みを取って、海や森の近くで過ごす人が多いんだ。小学校も2か月くらい休みだよ。みんなも楽しい夏休みを過ごしてね。

人口 約6467万人
首都 パリ
主な言語 フランス語

夏休みは海外のどこかで過ごすの、どうですか。

▲5年 p50-51 世界の友達 1

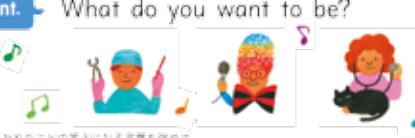
POINT 3 口ずさみたくなる、 チャンツ・歌

楽しみながら英語の力がつくオリジナルチャンツを全Unit に用意し、学習する表現を楽しく練習できるようにしました。
英語のリズムやイントネーションに忠実なチャンツで、英語の力を養います。
また、英語の歌や絵本教材も豊富に扱い、英語の響きやリズムを味わえます。

▼6年 p96 Unit 8



Let's chant. What do you want to be?



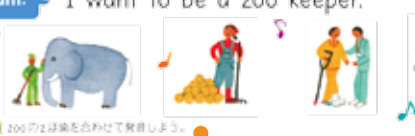
きかれたことと答えになる言葉を強めて。

A: What do you want to be?
B: I want to be a dentist.
A: What do you want to be?
C: I want to be a comedian.
A: What do you want to be?
D: I want to be a vet.
A: What do you want to be?
E: I want to be a baker.
A: That's great!

▼6年 p98 Unit 8



Let's chant. I want to be a zoo keeper.



zooの2は発音を合わせて発音しよう。

A: I want to be a zoo keeper. B: Why?
A: I like animals. B: That's nice.
C: I want to be a farmer. B: Why?
C: I like potatoes. B: Really?
D: I want to be a nurse. B: Why?
D: I want to help people. B: That's nice.
E: I want to be a pilot. B: Why?
E: I want to see the world. B: Wow!

発音のアドバイスつき



オリジナルチャンツの作曲には、NHKの小学校英語番組「エイゴビート」の制作者が協力してくれました。

そのまま使って、伝わるチャンツ

ネイティブスピーカーのようなリズムや発音で言えるチャンツです。教科書のチャンツのリズムどおりに発音すれば、実際のコミュニケーションでも、きちんと伝わる英語が身につきます。また、高学年の子どもたちが興味をもてるように、ジャズ、ラップ、ヒップホップなど、単元ごとにさまざまな曲調でつくりました。

多彩な歌を、実態に合わせて

英語の音やリズム、文化的な背景に触れることができる「英語の歌」を、各Unitの終わりに設けた「Fun Time」のページで紹介しています。授業のウォームアップで流すことはもちろん、給食の時間に流すなど、学校の実態に合わせた使い方ができます。

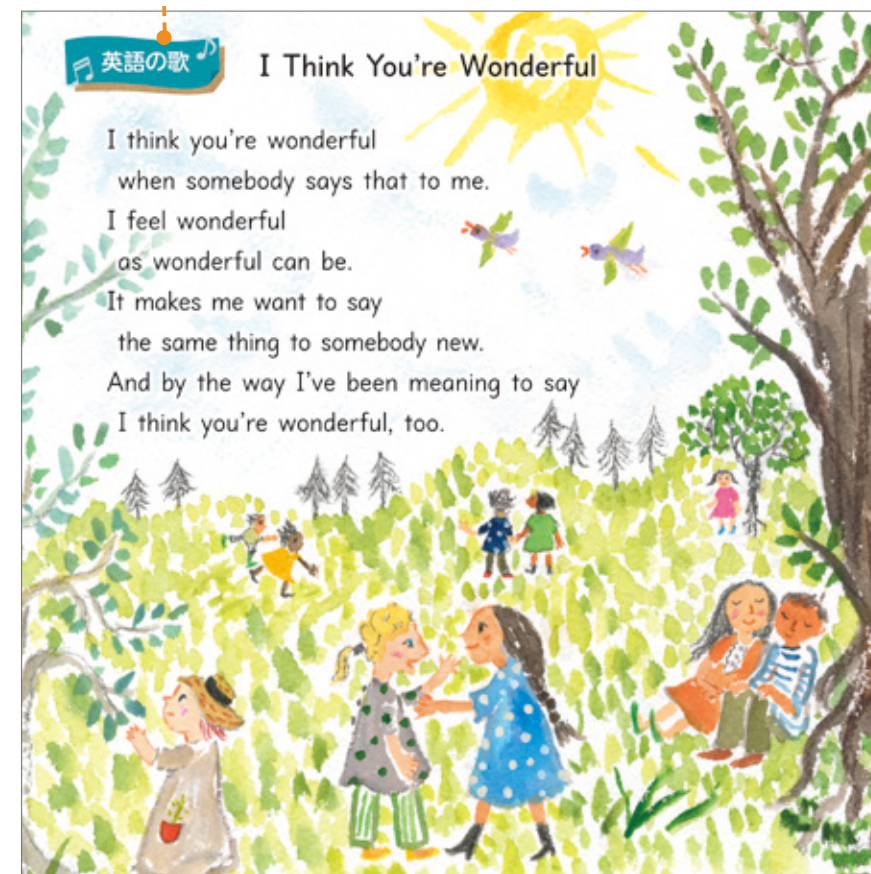


5年 p90
Pease Porridge Hot

6年 p58
A Sailor Went to Sea



6年 p113
I Think You're Wonderful



英語の歌 I Think You're Wonderful

I think you're wonderful
when somebody says that to me.
I feel wonderful
as wonderful can be.
It makes me want to say
the same thing to somebody new.
And by the way I've been meaning to say
I think you're wonderful, too.

歌リスト

5年
This Is the Way
I Love the Mountains
It's a Small World
Pease Porridge Hot
On Top of Spaghetti
Everyone Is Special

6年
How Do You Do?
Do-Re-Mi
Take Me Out
to the Ball Game
A Sailor Went to Sea
Humpty Dumpty
Sing
Bring Happiness
to the World
Over the Rainbow

I Think
You're Wonderful

PICK UP! /

チャンツは長い間子どもたちに英語を教えている指導者とネイティブスピーカー、作曲家が監修・作成しています。



アリーダ・クラウス

児童英語教育では有名なアリーダ先生が、一から協力してくれました。世界中で使われている子ども向け英語教材『SuperKids』（ピアノ）の著者です。



戸田ダリオ

語学力と歌唱力を生かし、「英語であそぼ」などNHK教育番組に多数出演。作詞から声の出演まで総合的に協力してくれました。

マザーグースなどの伝統的な歌から、手遊び歌、心に響くメッセージソングまで、多彩な歌を扱いました。



PICK UP! /

パトリック・ハーラン

「君ってすごい」と相手のよさを称える曲「I Think You're Wonderful」は、テレビでもおなじみのバックンこと、パトリック・ハーランさんが心を込めてうたいます。



新版教科書の構成

各学年とも九つのUnitで構成しました(文部科学省補助教材『We Can!』と同じ)。
各Unitは、Hop! → Step1 → Step2 → Jump! の順で構成し、
ゴールまでの学習の流れが見える安心の設計です。聞く活動から始まり、
話す活動を経て、読む・書く活動へと、無理のないスモールステップで進みます。

Hop!

導入



最初に Unit のゴールを示し、学習の見通しを立てやすくしました。大きなパノラマのイラストとアニメーションのストーリー映像を手掛かりに、英語が使われている場面や状況・話題を確認します。

展開

Step1



ゴールで使う表現を、Step1とStep2に分けて少しずつ学ぶ設計です。
どちらも流れは一緒に、聞く活動やチャンツで口を慣らし、話す活動を経て、書く活動へと進みます。
Hop! で見たアニメーションの一部を見て、このStepで学ぶ表現に気づけるようにしました。

Step2



Jump!

まとめ



親しんできた表現を指で追って読む活動や、世界の映像を通して、見方・考え方を広げます。それらを参考に、単元のゴール活動に取り組み、最後に「ふりかえろう」で、単元全体の学習の達成度を確認します。

Unit全体は見開き単位で構成し、指導の流れを明確に示しました。紙面にない活動をはさんで補ったり、順番を入れ替えたりしなくても、ゴールに向かって順に学習が進められます。



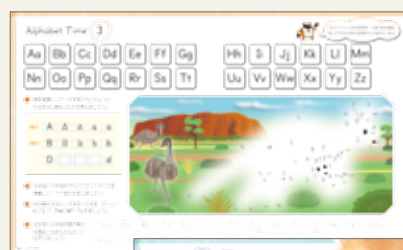
Unitと関連した学習

上/Alphabet Time

5年生のUnit 1～3 までの間に3か所設定。
アルファベットの大文字・小文字の形の特徴をしっかりと認識し、読み書きにつまづかないよう、段階的に学べるようにしました。

下/Fun Time

文字遊びや歌、物語、他教科と連携した学習などを紹介。
授業のウォームアップで歌を扱ったり、授業の中で文字遊びを取り入れたりして、学びを広げられます。



こう使う！

COLUMBUS 21

ENGLISH COURSE ⑤

中学校英語教科書『COLUMBUS 21』は、
英語学習への意欲を高める工夫を随所に設けています。
実際にその工夫を生かした実践をされている学校を取材し、
先生のインタビュー(前半)と
授業リポート(後半)の2部構成でご紹介します。



足立区立竹の塚中学校



1970年開校、東京都足立区北部にある公立中学校。各学年2〜3クラス、約200人の生徒が学ぶ。校舎の窓には、生徒のデザインにより誕生した学校のオリジナルキャラクター「竹坊」が描かれ、見る人を和ませている。英語の授業は、1クラスを二つに分けた少人数制で実施されており、2017年度から「5ラウンドシステム」を導入している。

松村祐輔 先生

前 足立区立竹の塚中学校 英語科教諭
学生時代はスポーツ一筋。大学では心理学を専攻。卒業後は海外留学、飲食店経営などをしていたが、一念発起し、通信教育で教員免許を取得。2011年の初任から竹の塚中学校に勤務し、19年4月から江戸川区立松江第五中学校に勤務。

タスクを作りやすい教科書

本校では2017年度から、教科書を1年の中で4〜5回繰り返して学習する「5ラウンドシステム」を導入しています(各ラウンドでの学習内容はp18を参照)。その中で、本文の理解度がある程度まで高まったラウンド4にタスク(特定の目的を達成するために行わせる課題)を取り入れ、「とにかく使わせる」ことを心掛けています。

『COLUMBUS 21』の特徴として、全体を通した本文のストーリーの魅力がよく挙げられますが、もう一つの大きな特徴として、**タスク設定のしやすさもあります**。言語活動のコーナーである「Try It!」や「You Can Do It!」など、教科書そのものに数多くのタスクが設定されているというだけではありません。これらのコー

ナーをアレンジするなどして、オリジナルのタスクを設定しようとしたとき、本文のストーリーが身近な日常で繰り返されているため、生徒が「自分ごと」として挑戦できる**タスクを作りやすい**のです。

タスクに集中して取り組ませるには、その英語の表現を使う「必然性」をつくるのが大切です。そのためには、現実に近い場面を設定することが重要になります。今回の授業では、「相手に朝の日課とその時間をたずねた後、待ち合わせの場所と時間を決める」というタスクを設定しました(p18-19の授業も参照)。これは、Unit 6の本文に朝の行動についてのストーリーがあり(※1)、登場人物が日常の会話として、時刻をたずねたり、答えたりしているからこそ、生徒たちが自然にタスクに入り込めるわけです。

ラウンド制がタスクの効果を高める

また、「5ラウンドシステム」が、タスクの効果をよりいっそう高めています。ラウンド3までに豊富な音読を積み、タスクに取り組ませるのですが、「この表現、教科書では何て言っていた？」と生徒たちに問いかけながら、進めていきます。これまでに繰り返し触れてきた**英語表現を、思い出しながら実際に使ってみるという経験**をすることで、「**定着**」に結びつけることができます。ここで、生徒たちは「わかる」「使える」という達成感を得られるのです。

実際、タスク活動中の生徒たちの会話では、「You're very late!」と本文の表現をまねしていたり、「あのとき、"It's almost eight o'clock." って言っていたよね？」などと表現を確認し合っていたりする様子が見られます。

以前まで、ラウンド4では、レシテーション(本文の暗唱)だけに取り組ませることが多かったのですが、タスクを取り入れるようになったことで、いい変化が見られるようになりました。



※1『COLUMBUS 21』p74
Unit 6の本文。何気ない朝の日常会話の中に、時刻の表現などが出てくる。

タスクは自然なコミュニケーションに近いので、相手に理解してもらう工夫が必要になります。そこで、生徒たちは自分が伝えたいことと実際に表現できることとのギャップに気づき、自然と文法を意識するようになりました。

2017年度から導入した5ラウンドシステムですが、私一人の力ではなく、ほかの先生方との連携のおかげで、非常に上手く機能しています。同僚の先生方全員が必要性を共有し、チーム一丸となって生徒のことを考え抜くからこそ、改善点も生まれるのだと思います。

小中接続で求められる「使う」視点

『COLUMBUS 21』は、5ラウンドシステムとの親和性が非常に高いと感じています。**ストーリー性に優れているのはもちろん、まとまった量を音読させられるのがいいですね**。

今後は、小学校で英語によるコミュニケーションを中心に、豊かなインプットを経験してきた児童が中学校に進学してきます。そのとき大切になるのは、**PracticeではなくUseの視点をもって授業を進めること**ではないでしょうか。小中接続を考えたときに、中学校に入ったらいきなり文法……となると、せっかく小学校で親しんできた英語に、抵抗感を覚えてしまう生徒もいるかもしれません。

これからの中学校の英語教育では、まずはタスクに取り組ませてみて、できなかった項目をドリル形式で練習させる、という手法がよいのではないのでしょうか。そう考えると、タスクを作りやすい『COLUMBUS 21』は、これからの時代に合った教科書といえると思います。

松村先生の授業は次のページで紹介！

こう使う！
COLUMBUS 21
ENGLISH COURSE

松村先生の授業を レポート！

1年生少人数クラス(生徒数:11名)

学習内容:Unit 6 タスク(ラウンド4)

本時の目標:Unit 6の表現を使ってやり取りする



“How are you?”

教室に集まってくる生徒たちに、松村先生が声をかけた。

“I’m hungry.”

“Hungry? Why?”

“Because I ate only *ochazuke*.”……

授業前から、英語での会話が自然に繰り広げられている。チャイムが鳴ったときには、生徒はすでに英語モード。あいさつ、日付、天気の確認と、リズムカルにやり取りが展開していく。続いて、翌日に控えた英単語テストの学習に入る。ペアで交互に単語を読み、全員で読みを確認した後、各自で書き取り練習という流れだ。生徒たちはスラスラと鉛筆を動かしていた。

[1st Try] Planning タイム 質問のしかた、答え方を考える

ここからいよいよ本時の活動へ。松村先生が“Where did you go in December?”と問いかけながら、ワークシートを配付した。そこには、昨年12月に校外学習で行った体験型英語学習施設に再び行くことになったので、必要な情報をお互いに聞きながら、待ち合わせの場所と時間を決めよう、というタスクが書かれていた。

Step1では、まず起床、洗顔、朝食、歯ブラシ、着替えといった朝の日課について、それぞれの行動を行う時間を記入した。次に、松村先生は1分間の「Planning タイム」を設定。会話に入る前に、質問のしかたや答え方を考える時

●Unit 6 Breakfast Time

本文の内容:アメリカ出身のティナの家では、朝から元気な声が聞こえてくる。でも、なかなかティナが起きてこなくて……。

ラウンド	時間数(目安)	内容
1	1	リスニングによる内容理解:絵から読み取れる情報をヒントに聞き取る
2	1	音と文字の一致:順不同に並べた絵カードの順を正す
3	3~5	音読:①単語確認と内容理解 ②音読の徹底 ③Read and look up ④グラマーハント(※1)
4	1~2	レシテーション(暗唱)+タスク ★
5	1~2	リテリング(Story Retelling):特定の登場人物の視点から伝える

※1 該当する文法事項をゲーム感覚で本文から探す活動。

今日の
授業はココ！

間だ。生徒の会話に耳をすますと、「洗顔は、wash face?」「歯ブラシって何だっけ?」「Tooth ブラシ?」などの声が聞こえてきた。その後、松村先生は「OK。とりあえずやってみよう!」とタイマーをセット。生徒たちは自分なりに考えた表現を使い、情報を聞き出していく。

[1st Try] Sharing タイム 使った英語表現をシェアする

2分後、松村先生は日本語で声をかけた。

先生 どんな英語が出たかな?

生徒1 What time do you ~?とか。

先生 いいね。ほかには?

生徒2 How about you?

先生 OK。「起きた」とかは言えた?

生徒3 Get up!

先生 じゃあ、「顔を洗う」は何て言う?

こんな要領で確認しながら、生徒から出てきた表現を次々と板書していく。

続くStep2では、待ち合わせ場所と時間を決める。Step1と同様、まずは2分間、各ペアで自分たちなりに会話してみて、使った表現をクラスにシェア。松村先生がその表現を板書、という流れを繰り返した。それを終えると、各自ワークシートに、1st Tryでの会話を振り返り、CAN-DOの4段階で自己評価を行った。



松村先生に見守られながら、ペアで会話に取り組む生徒たち。



これまでのラウンドで触れた表現を思い出しながら、手探りで言葉を紡いでいく。

[2nd Try] Reflection タイム 表現を確認しながら再挑戦

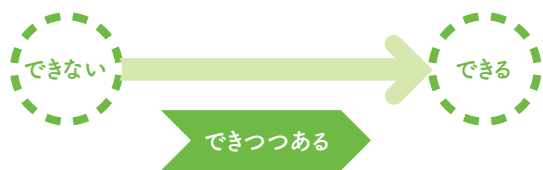
ここでペアを変え、1st Tryと同じように、Step1,2の順に会話に挑戦していく。松村先生は、今度はタイマーを5分にセット。朝の日課の時間をたずね合い、待ち合わせ場所と時間を決めるところまでを一気にやってしまうよう指示した。2回目の挑戦とあって、教室の至るところから、滑らかで自然な会話が聞こえてくる。「What time do you ……えっと(黒板を見る) ……brush your teeth?」と、表現を忘れた生徒は、黒板で確認しながら練習していた。松村先生は机間指導しながら、生徒たちが英語で言えずに日本語で話していた表現をピックアップし、黒板に書き出していた。

タイマーが鳴ったところで、生徒たちは再び会話の出来をワークシートにCAN-DOの4段階評価で記入し、学習成果を確認。その間に松村先生は、黒板に書いてあった「だらしなないよ」「店、開いてるの?」といった表現を英語でどう言うか紹介した。この「Reflection タイム」が、生徒たちの表現の幅を増やすようだ。ワークシートをのぞいてみると、この日使った英語表現や単語がたくさんメモされていた。終業を告げるチャイムが鳴ってからも、黒板を熱心に書き写す生徒たちの様子が見られた。

小中をつなぐ ポイント

小中連携は、英語教育の大きな課題の一つです。この連載では6回に分け、小学校と中学校の学びをどうつないだらよいか、そのヒントを述べていきたいと思います。今回は、CAN-DOリストを使ったつなぎ方について、ご紹介します。

CAN-DOに関して具体的にお話しする前に、一つ確認しておきたいことがあります。それは、「CAN DO(できるようになる)」か「CANNOT DO(できない)」の二項対立で考えるのではなく、その間にある「できつつある」「こういう条件ならばできる」という途中段階を意識するということです。生徒が英語を習得できるまでには、下の図のように途中過程があることを常に忘れずにいることが大切です。



1. 英語を使わせ、モニターする

中学校の新入生向けに、4月の授業で行うべきことの一つは、生徒に英語を使わせてみることです。ここでいう「使わせてみる」には、アウトプットだけではなく、インプットやインタラクション(相互のやり取り)も入ります。

具体的には、先生が英語でSmall Talkをしたり、日常的な話題や小学校で学んだ話題で生徒とインタラクションを取ったりすることからスタートします。その際、補助教材『We Can!』の目次(※1)を見るとよいでしょう。小学校で学



※1『We Can! 2』目次



習してきたことを確認しながら、生徒がどのくらい理解できるか、またどのくらい英語を聞いて理解しようとする姿勢があるか(「わからない」とあきらめないか)などをモニターします。やり取りすることで、生徒がどれくらい応答することができるのか、どの表現や語彙は使うことができるのかなどもわかるでしょう。

また、生徒にペア・ワークをさせ、その様子をモニターすることで、生徒は何ができて、何ができつつあり、何ができないのかがわかります。このように、モニターしてわかったことを次回からの授業に生かすことができます。

さらに、小学校で使っていたCAN-DOリストを印刷し、生徒に自己評価させることも効果的です。それにより、中学校の出発点がわかり、授業づくりの第一歩がスタートできます。来年4月から使われる小学校英語教科書『Here We Go!』(光村図書)では、小学5・6年生でできるようになることをCAN-DOリストで示しており(※2)、振り返りにも活用できます。

2. 小中の教員で思いを共有する

英語研究会などで、小中学校の両方の先生方が集まる機会がある際には、次のことをおすすめします。それは、4技能5領域別に、お互いに児童生徒に何ができるようになってほしいか

を共有することです。ある自治体で私が行った「聞くこと」の例をもとに説明します。

まず、次のように問いかけます。小学校の先生方には「児童にどのような姿勢や力を身につけてもらい、中学校へ送り出したいですか」とたずね、中学校の先生方には「どのようにその姿勢や力を伸ばしていきたいですか」とたずねます。この後、先生方は話し合いをして、それらを共有します。私が行った例では、双方の先生方から次のような共通意見が挙がりました。

- 推測して聞く姿勢をもち、あきらめずに聞き続けることができる
- 概要を聞き取ることができる

小学校と中学校で同じ意見が出て、児童生徒が「聞くこと」に関してできるようになってほしいことが共有できました。こうして「英語を使ってできること(できつつあること)」を小中の双方が共有することで、CAN-DOで小中をつなぐことができます。また、CAN-DOを共有することで、授業の活動も同じ目標に向かうので、連携がしやすくなるでしょう。



※2『Here We Go!』, 6年生CAN-DOリスト p8

次号では、「授業づくりを振り返るポイント」についてご紹介します。

太田 洋
おた・ひろし
東京家政大学教授
東京都生まれ。2002年東京学芸大学大学院修了。東京都の公立中学校、東京学芸大学附属世田谷中学校教諭、駒沢女子大学教授を経て現職。小学校英語教科書『Here We Go!』, 中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(ともに光村図書)の編集委員を務める。

今日から使える!

Classroom English

Lesson 4

活動の指示の表現②

Hello! 新年度の授業が始まりましたね。このコーナーで今までに紹介した表現を使って、初回の授業から楽しく始められたでしょうか。I hope so! これからもさらに使える表現を増やしていきましょう。

今回は、ゲームをするときに役立つ表現を中心に紹介します。もちろん、参考になる表現を学ぶことは大切ですが、表現を知っているだけでは、いざというときにさっと出てこないものです。クラスルーム・イングリッシュを覚えるためには、「習うより慣れよ」の気持ちで、頻度の高い表現から授業の中で積極的に使ってみることをおすすめします。間違えることも、覚えることにつながります。

ただし、授業の準備をするときは、正確さを意識しましょう。例えば、英文を見ながら声に出して読む、英文を見ずに授業の場面をイメージしながら声に出す、使いたい表現を正しく書き写すなど、アウトプットの練習をたくさんしておきましょう。

Let's play a game!

ゲームをしましょう!

文部科学省が作成した補助教材『Let's Try!』や『We Can!』には、「Let's Play(ゲームをしよう)」という活動があります。ポインティング・ゲームやキーワード・ゲームなどを行うときは、「Let's play Pointing Game!」のように名前を入れればOKです。特に名前がない活動のときは、この表現でゲームをすることを伝えて盛り上げましょう。同じゲームを繰り返すときは、「Let's do it again.」、続けて新しいゲームをするときには、この表現にnewを加えて、「Let's play a new game!」や、aをanother(他の)にして、「Let's play another game!」と言うことができます。

Watch me.

私を見てください。

ゲームの説明をしようとなると、英語は複雑になります。日本語で説明してもわかりにくいときがあるので、モデルを見せるといいでしょう。「見る」というと、lookも思い浮かびますが、こちらは「Look at the card.」(カードを見なさい)など、ものや人に視線を向けてほしいときに使います。watchは「動いている対象を見る」という意味で、ここでは「私(の動き)を見る」なので、watchが自然です。ALTの先生と二人以上でモデルを見せるなら、「Watch us.」になります。

菅井幸子 すがい・さちこ

株式会社イーオン 東京本社法人部 学校教育課 教務コーディネーター

岩手県生まれ。大学卒業後、イーオン入社。

2007年より教務課トレーナーとしてイーオンスクールの教師育成に従事。15年に学校教育課の立ち上げに参加し、全国のエデュコムや学校で、教員向けの英語指導法や英語力アップの研修などを行っている。

Any volunteers?

やってくれる人はいますか?

手伝いを頼むときや、代表して何かをしてもらいたいときに使える表現です。手を挙げながら笑顔でたずねてみましょう。「やってみたい!」と立候補してくれた児童がいたら、「Thank you for your help.」(お手伝いありがとう)と伝えられると、その児童もうれいすし、他の児童に「次は僕が!」と自主性を促すきっかけにもなります。なお、volunteersは日本語の「ボランティア」とは違い、「ラ」ではなく「ティ」にアクセントがきます。複数形のsも忘れずに言いましょう。

Time's up.

時間です。

活動を終えるときに時計を指さしながら、残念そうな表情で言うという意味が伝わりやすいでしょう。「タイムアップ」や「タイムオーバー」は日本人どうしでは通じますが、造語なので、ALTの先生にも伝わるこちらの表現を覚えましょう。また、短い表現だからこそ、英語らしい自然な音に気がつけたいですね。「タイムズ・アップ」ではなく、Time'sの語尾のsと次のupのuをつなげます。upのpも母音をつけて「プ(pu)」にならないようにしましょう。

Is everything clear?

わかりましたか?

児童にゲームなどのモデルを見せて、理解できたかを確認するときに使える質問です。「Do you understand?」とたずねることもできます。clearは「明らかな、はっきりした」という意味の形容詞です。日本語では「大丈夫ですか?」とたずねて理解を確認することもできますが、これをそのまま英語に直して「Are you OK?」としてしまうと、少しニュアンスが変わってきます。「Are you OK?」は、例えばALTの先生の表情がすぐれないときや困っているときの「大丈夫ですか?」という声かけに使いましょう。

★ここがポイント!!

「Time's up.」の説明にもありますが、単語の終わりに母音がついた読み方にならないように気をつけることで、英語らしい発音を目指しましょう。「Any volunteers?」の最後のs(音はz)も、ズ(zu)にならないようにします。「Time's up.」と「Is everything clear?」のisも同じ音ですが、こちらは、upやeverythingといった、母音で始まる単語が続くので、その音をつけて読むとより自然です。ネイティブスピーカーの発音を目ざすのではなく、英語として伝わる発音を心がけましょう。

デジタル教科書を使ってみましょう!

先生方が紙面を拡大したり、資料や音声、動画を見せたりする指導者用デジタル教科書に加え、来年度からは法改正により、子どもたちが使用できる学習者用デジタル教科書が登場します。小学校英語の授業にデジタル教科書を導入してはいかがでしょうか。

体験版・
商品情報は
こちら



アクティブな教科書

(指導者用・学習者用共通)

新版教科書の特色(本誌p8-9)で紹介しているように、教科書のメインストーリーがアニメーションで再生されます。映像とともに登場人物の発話を聞き取る活動ができ、場面の様子が楽しみながら理解できるようになります。

挿絵に描かれている本や鉛筆などをタップすると単語の音声再生されます。音の出るピクチャーディクショナリーとして効果的に学習することができます。

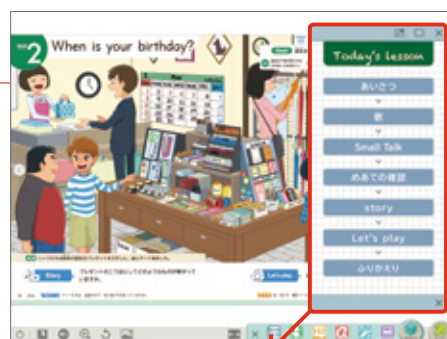


挿絵をクリックするとアニメーションが再生されます。下段には英語の指示が表示されます。

Tサポートで授業を強力バックアップ

(指導者用)

指導者用には、先生方の指導をサポートするT(Teacher)サポート機能を搭載。例えば、毎時間の授業の流れを示す「今日のレッスン」では、各コーナーを順番にクリックしながら授業を進めることができます。また、授業に必要な英語の指示を、字幕で表示(字幕・音声サポート)。この字幕を読み上げながら指示を出すことはもちろん、音声を再生して使うこともできるので、授業に不安のある先生方にも安心です。

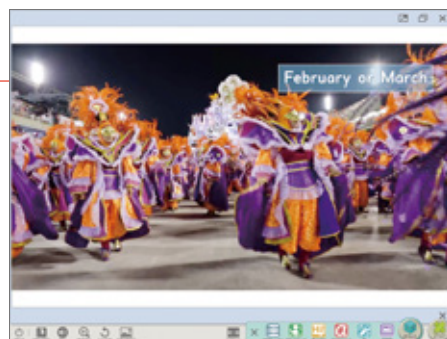


授業の流れを示す「今日のレッスン」コーナー。クリックするとその活動のページが開きます。

楽しく学べるコンテンツがいっぱい

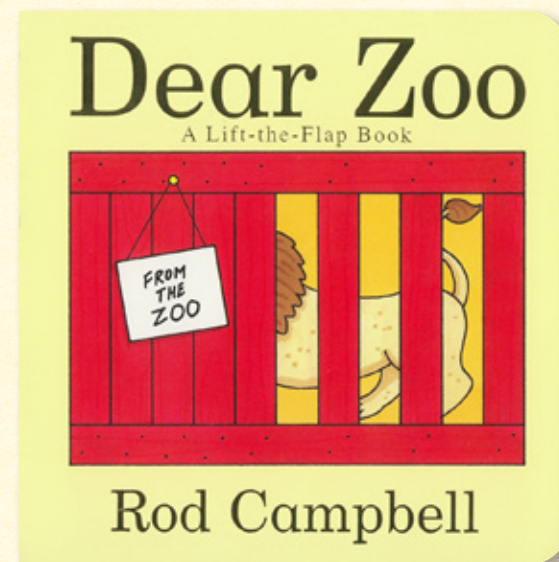
(指導者用・学習者用共通)

教科書内容に加えて、豊富なデジタル教材をご用意しました。チャンツや歌(本誌p12-13)、タブレットを指でなぞって学習するアルファベットワーク、世界各国の動画(本誌p10-11)、ピクチャーディクショナリーなど、授業のさまざまな場面で活用できるコンテンツが満載です。



世界の祭りの紹介動画。異文化に対する関心を高めます。

子どものための B O O K G U I D E
— 5 —



Dear Zoo

著者: Rod Campbell
出版社: Little Simon

この絵本、奥付を見ると、初版が1982年。ということは、英語圏の国々では35年以上読みつがれているロングセラー! いかにも子どもが好きそうな絵本で、それも動物園もの……といっても、動物園に遊びに行く絵本ではありません。タイトルは、ごらんの通り、*Dear Zoo*。最初のページには、“I wrote to the zoo to send me a pet.”とあります。そう、子どもが動物園に手紙を書いて、動物園から次々にいろんなペット(?)が届く、という絵本なのです。

全部で8匹(頭?)の動物が送られてきます。どの箱やかごにも“FROM THE ZOO”という札がついてます……が、いくつかの箱には、注意書きがそえられています。最初の黄色の箱には“VERY HEAVY!”

表紙に“A Lift-the-Flap Book”とありますが、これは仕掛け絵本で、本を開くと、右ページに箱の絵があって、それを開くと、その下に動物の絵が描かれています。“VERY HEAVY!”と書かれている黄色い箱の中からは

ゾウが出てきて、その下には“He was too big!” “I sent him back.”とあります。“DANGER!”と書かれている赤い箱からはライオンが出てきて、“He was too fierce!” “I sent him back.”

この繰り返し楽しい。送られてきた動物を送り返す理由ですが、too big, too tallあたりはわかるとして、too fierce, too grumpy, too scary, too naughty, too jumpyあたりはどうでしょう。tooのあとの形容詞、小学生にはちょっと難しいものもありますが、最後の“He was perfect!”のperfectを入れても、全部で8個。すぐに覚えられると思います。とくに、grumpy, naughtyなどは覚えて楽しい単語です。

そうそう、この絵本では8匹(頭?)の動物が出てくるのですが、どんな動物なのかは絵で描かれていて、名前も出てきません。ついでに英語で覚えてしましましょう。

*Dear Zoo*というタイトル、どう訳すか、みんなで話し合うのも楽しいかもしれません。

金原瑞人
かねはら・みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど500点以上。日本にヤングアダルト(YA)というジャンルを紹介。中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(光村図書)の編集委員を務める。